

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道413号 <small>あおね あおのはら</small> 青根～青野原バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 神奈川県								
<b>起終点</b> 自：神奈川県津久井郡津久井町青根 至：神奈川県津久井郡津久井町青野原	<b>延長</b> 7.0 km									
<b>事業概要</b> 一般国道413号は、山梨県富士吉田市を起点とし、神奈川県相模原市（国道16号）に至る延長約62kmの幹線道路である。青根～青野原バイパスは、幅員狭小、線形不良及び歩道未整備の解消を目的とした、延長7.0kmの2車線の道路である。										
<b>H元年度事業化</b> 都市計画決定：なし		<b>H元年度用地着手</b> H2年度工事着手								
<b>全体事業費</b> 160億円		<b>事業進捗率</b> 74%								
<b>計画交通量</b> 6,600台/日		<b>供用済延長</b> 3.7km								
<b>費用対効果分析結果</b> B/C： (事業全体) 1.6  (残事業) 3.7	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 39 / 92 億円 (事業費：34 / 87 億円) (維持管理費：5 / 5 億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 146 / 146 億円 (走行時間短縮便益：143 / 143 億円) (走行費用減少便益：2 / 2 億円) (交通事故減少便益：1 / 1 億円)								
<b>基準年</b> 平成15年										
<b>事業の効果等</b> ・安全な生活環境の確保（狭隘個所の解消や、歩道整備による交通の円滑化及び安全性の向上） ・国土・地域ネットワークの構築（当区間の大型車のすれ違い困難区間が解消される） 他4項目に該当(定量的評価項目を含む)										
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道413号は、相模原・津久井地域の日常生活を支える骨格路線であり、重要な路線であるとして、相模原市をはじめとする関係1市4町の首長で構成される相模原津久井広域道路及び国道413号整備促進協議会より早期整備の要望（平成15年7月18日）を受けている。										
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 都心方面から山中湖に至る観光道路にも利用され、近年交通量が増加している。										
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在までに3.7kmを部分供用している。										
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 山間部の急峻な地形から、長大橋等の大型構造物が多いことから事業が長期化しているが、平成16年度初旬に青根地区を部分供用し、引き続き橋津原地区の整備を進め、早期供用を目指す。										
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 道路側溝のプレキャスト化によるコスト縮減を図っている。										
<b>対応方針 事業継続</b>										
<b>対応方針決定の理由</b> 当該区間は幅員狭小、線形不良及び歩道未整備の未改良区間解消を目的に、整備を行っていることから、残区間の事業の必要性は高い。										
<b>事業概要図</b>										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td>供 用 中</td> <td style="background-color: #cccccc; width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td>再 評 価 箇 所</td> <td style="background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, #cccccc 2px, #cccccc 4px); width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td>う ち 供 用 中</td> <td style="background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, #cccccc 2px, #cccccc 4px, #cccccc 6px); width: 20px;"></td> </tr> </table>	凡 例		供 用 中		再 評 価 箇 所		う ち 供 用 中			
凡 例										
供 用 中										
再 評 価 箇 所										
う ち 供 用 中										

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。